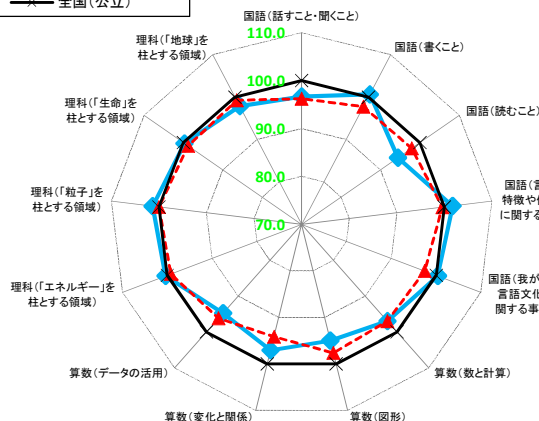
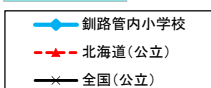
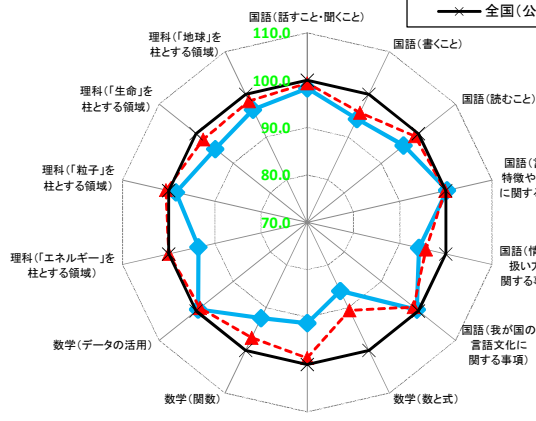
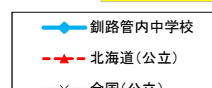


■釧路管内の状況及び学力向上策（小学校数:54校、児童数:1369人）（中学校数:37校、生徒数:1462人）

小学校【教科全体の状況】

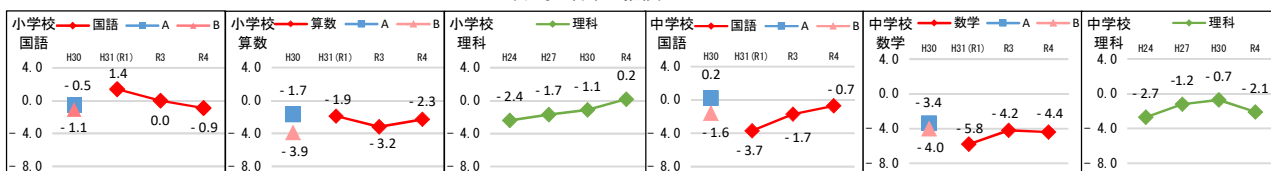


中学校



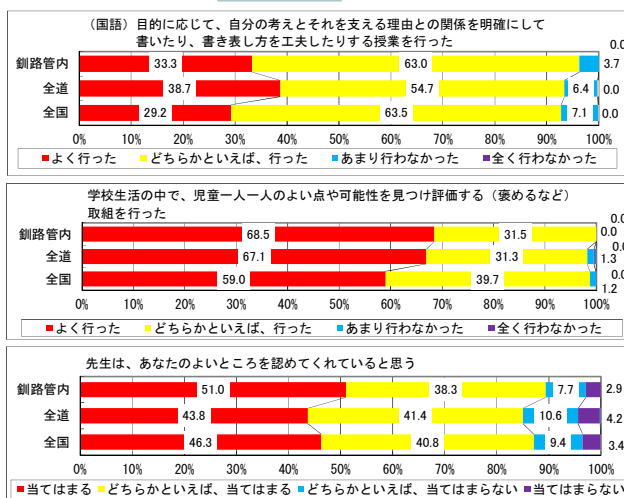
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び管内の状況をレーダーチャートで示したもの（管内の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出）

【平均正答率の推移】「管内の平均正答率-全国(公立)の平均正答率」の経年変化

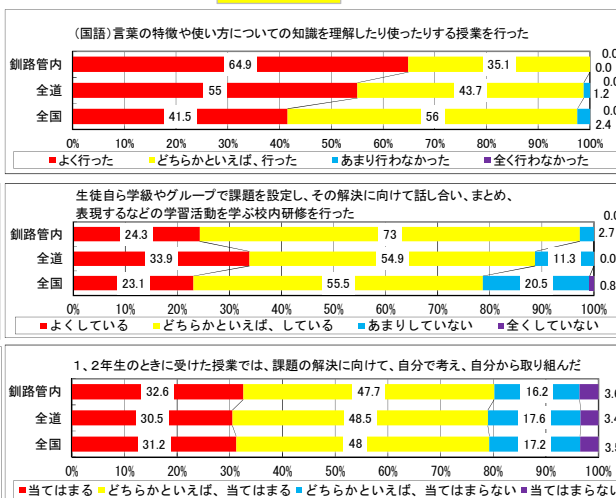


【質問紙の状況】

小学校



中学校



【上記結果の考えられる要因の分析】

小学校

国語の指導として、目的に応じて、自分の考えとそれを支える理由との関係を明確にして書いたり、書き表し方を工夫したりする授業を行ったことにより、国語の「書くこと」の領域において、全国を上回ったと考えられる。

学校生活の中で、児童一人一人のよい点や可能性を見つけ評価する(褒めるなど)取組を行ったことにより、先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思うと回答した児童の割合が全国を上回ったと考えられる。

中学校

国語科の授業では、言葉の特徴や使い方についての知識を理解したり使ったりするなど、言語活動の充実に向けた授業改善に取り組んだことにより、「国語の言葉の特徴や使い方に関する事項」において、全国を上回ったと考えられる。

生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学校内研修を行い、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に取り組んだことにより、1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んだと回答した生徒の割合が全国を上回ったと考えられる。

【釧路管内の学力向上策】については、次ページの学力向上の取組を参照ください。

釧路管内における学力向上の取組

1. 管内課題と重点的な改善策

(1) 未来を拓くために必要な資質・能力の育成

- 全国学力・学習状況調査の経年変化の結果から、小学校算数、中学校国語、数学が全国平均を下回っており、筋道を立てて説明するなど、言語活動の充実に課題が見られる。
- 全ての教職員の参加による学力向上に向けた検証改善サイクルの継続的な推進
- ICTの活用による個別最適な学びと協働的な学びを実現する授業改善
- 「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業改善

(2) マネジメント機能の強化

- 指導計画の作成に当たって、教科等横断的な視点で組み立てたり、教育課程の実施状況を評価・改善したりするなど、教育活動の質の向上を図る取組に課題が見られる。
- 「社会に開かれた教育課程」を実現する「カリキュラム・マネジメント」の推進
- ICT活用指導力チェックリスト等に基づく教職員のICT活用指導力の向上を図る研修の充実
- 将来を担うミドルリーダーや管理職候補者の育成とキャリアアップへの意欲の醸成

(3) 地域とともにある学校づくりの推進

- 地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かした保護者や地域の人との協働による活動や地域人材を活用した望ましい生活習慣の定着を図る取組に課題が見られる。
- コミュニティ・スクール及び「地域学校協働活動」の取組の充実
- 地域住民による子どもたちの学びを支える取組の充実
- 望ましい生活習慣や食習慣の定着を図る取組の推進

2. 具体的な取組

月	(1) 未来を拓くために必要な資質・能力の育成	(2) マネジメント機能の強化	(3) 地域とともにある学校づくりの推進
4～9	KUSHIRO学力向上推進プロジェクト		義務班・社教班による学校訪問
10		学校力向上に関する総合実践事業中核校における取組の成果の普及	次長による道立学校訪問（地学協働体制構築に向けた説明・協議）
11	国語科授業改善研修会（小・中学校） 算数・数学科授業改善研修会（小・中学校） 理科授業改善研修会（小・中学校） 外国語科授業改善研修会（小・中・高等学校）	〔教員の魅力UP！プロジェクト〕 教職のやりがいや魅力を伝えるパネルディスカッション	子どもの望ましい生活習慣・学習習慣定着研修事業 （小・中学校、保護者等）
12	全国学力・学習状況調査結果分析に基づく資料の作成 ICT研修会（小・中・高等学校）	第2回初任段階教員オンライン交流会（小・中・高・特別支援学校）	
1	ICT研修会（小・中・高等学校）	第2回組織力強化会議（小・中・高等学校）	
2	管内指導主事研修会（管内の成果と課題の共有） 授業改善推進チームの成果の普及	〔教員の魅力UP！プロジェクト〕 教職のやりがいや魅力を伝える動画資料の配信	
3			地学協働の推進に向けた局内ミーティング④

3. 取組の評価

(1)未来を拓くために必要な資質・能力の育成 推進マップに基づく自己評価 ＊各項目4点満点 ①「検証改善サイクルの継続的な推進」 ・現 状 小…3.89、中…3.86 ・目 標 小…4.00、中…4.00 ・達成値 3月末に評価 ②「ICTの活用による授業改善の推進」 ・現 状 小…3.63、中…3.54 ・目 標 小…4.00、中…4.00 ・達成値 3月末に評価	(2) マネジメント機能の強化 推進マップに基づく自己評価 ＊各項目4点満点 ①「カリキュラム・マネジメントの推進」 ・現 状 小…3.54、中…3.51 ・目 標 小…4.00、中…4.00 ・達成値 3月末に評価 ②「ミドルリーダーや管理職候補者の育成」 ・現 状 小…3.61、中…3.62 ・目 標 小…4.00、中…4.00 ・達成値 3月末に評価	(3) 地域とともにある学校づくりの推進 推進マップに基づく自己評価 ＊各項目4点満点 ①「『地域学校協働活動』の取組の充実」 ・現 状 小…3.39、中…3.35 ・目 標 小…4.00、中…4.00 ・達成値 3月末に評価 ②「望ましい生活習慣の定着を図る取組の推進」 ・現 状 小…3.22、中…3.16 ・目 標 小…4.00、中…4.00 ・達成値 3月末に評価
--	---	--

4. 改善点

(1)未来を拓くために必要な資質・能力の育成 □全ての教職員の参加による学力向上に向けた検証改善サイクルの継続的な推進 ・管内指導主事研修会における管内の成果と課題の共有 □ICTの活用による個別最適な学びと協働的な学びを実現する授業改善 ・ICT研修会における1人1台端末の効果的な活用に係る理解の促進 □「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業改善 ・授業改善研修会における教員の指導力の向上	(2) マネジメント機能の強化 □「社会に開かれた教育課程」を実現する「カリキュラム・マネジメント」 ・指導主事の学校訪問における指導助言 □ICT活用指導力チェックリスト等に基づく教職員のICT活用指導力の向上を図る研修の充実 ・ICT研修会における1人1台端末の効果的な活用に係る理解の促進 □将来を担うミドルリーダーや管理職候補者の育成とキャリアアップへの意欲の醸成 ・第2回組織力強化会議におけるミドルリーダー教員を対象とした説明・協議	(3) 地域とともにある学校づくりの推進 □コミュニティ・スクール及び「地域学校協働活動」の取組の充実 ・地学協働の推進に向けた局内ミーティングにおける各係・指導班が連携した取組 □地域住民による子どもたちの学びを支える取組の充実 ・義務班・社教班合同による学校訪問における指導助言 □望ましい生活習慣や食習慣の定着を図る取組の推進 ・子どもの望ましい生活習慣・学習習慣定着研修事業における保護者・教員への啓発
--	---	--